

活動報告 川崎H.C 公開ハイク(一般22名)で2名加入

事故報告 富士山で軽い凍傷(手足)

意見交換 平日休みの会員への対応は?

・シフト勤務の人は1~2ヶ月先の計画の発表を希望。・土日から平日に休日が変わると辞めてしまう。・平日休みの人は入会を断る。定年年齢が多い会は1/3が平日山行。

連盟ニュース

253

# 神奈川 2

2006.2.14

## 県連のスケジュール

2月		3月		4月	
1	水	1	水	1	土
2	木	2	木	2	日
3	金	3	金	3	月
4	土	4	土	4	火
5	日	5	日	5	水
6	月	6	月	6	木
7	火	7	火	7	金
8	水	8	水	8	土
9	木	9	木	9	日
10	金	10	金	10	月
11	土	11	土	11	火
12	日	12	日	12	水
13	月	13	月	13	木
14	火	14	火	14	金
15	水	15	水	15	土
16	木	16	木	16	日
17	金	17	金	17	月
18	土	18	土	18	火
19	日	19	日	19	水
20	月	20	月	20	木
21	火	21	火	21	金
22	水	22	水	22	土
23	木	23	木	23	日
24	金	24	金	24	月
25	土	25	土	25	火
26	日	26	日	26	水
27	月	27	月	27	木
28	火	28	火	28	金
		29	水	29	土
		30	木	30	日
		31	金		



三枝木さん(横浜H.C)撮影

神奈川県連盟所属の会員のみなさんへのお願い	理事長 中山 建生	2
関東ブロック雪崩講習会の報告	やま++ 紙戸 大輔	3
基本クラス雪崩講習会感想文	曾根 文彩	4
2006年度ハイキングリーダー学校入校案内	ハイキング委員会	5
2006年ハイキングリーダー学校日程及び内容	ハイキング委員会	6
クリーンハイク第1回実行委員会報告	児玉 幸代	7
丹沢水質調査のお願い	自然保護委員会	7
神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定		8
事務局長会議報告		9
県連のスケジュール		10

**定期総会のお知らせ**

以下の内容で定期総会を開催します。各会においては代議員の選出をお願いします。  
 会員10名につき代議員1名。ただし10名以下の会は代議員1名。  
 また、新規理事の推薦をお願いします。(理事の交代がある場合は早めの連絡をお願いします)

日時 3月12日(日) 10時~17時  
 場所 神奈川県民センター402号室(横浜駅西口)  
 内容 2005年度の総括、2006年度方針、議案についての討議、理事選挙など

# 神奈川県連盟所属の会員のみなさんへのお願い

2006年2月5日 神奈川県勤労者山岳連盟  
理事長 中山 建生

2006年3月は県連盟の総会となります。県連盟を代表して次のことを皆さんに訴えます。この総会を期に私は理事長を退任することにしました。私が連盟の理事長となったのは1980年ですからこの間の連盟の役職を約25年以上務めたこととなります。1970年から85年位までは混乱の時期でした。神奈川で理事長を務めるようになり、全国の遭難対策委員となり毎日が休む間もないくらい会議や打ち合わせで横浜、東京へでかけ帰りは終電車の毎日でした。そして85年の厚木、柴笛の事故を境に雪崩講習会を開催し、リーダー養成学校で実技の指導に出掛け休日はほとんど山の中でした。いまでは昔ほどではありませんが、県連盟、全国、雪崩で1年はあっという間に過ぎていきます。2年前に後進に道を譲るべく準備をしましたが、これを果たせず2年後に代わるよう心構えをするようにと、そして新しい時代にふさわしい理事を選任して県連盟の将来を作り上げるようにと常任理事会で話をしました。また遭難対策部の活動を強化すべきと考え、来期は遭難対策部の委員になる旨の話もしてきました。神奈川での遭難事故は起きるべくして起きたと見ています。多くの会が基本的な会教育ができず、安全登山の実現には向かえず、会の核となる後継者の養成ができていないからです。もちろん、県連盟が抱える多くの問題を私ひとりの力で問題のすべてが解決するわけではありません。連盟の将来は仮に未熟ではあっても情熱を持つ人たちの手で新しい時代にふさわしい組織づくりを目指すべき時です。組織の若返りと新しい人たちの手で失敗や悩みを共有し、これを解決してゆく道筋をみつけなくてはなりません。

**連**盟の活動を人任せにはいけないと考えます。それはもっと身近な会の活動も同じです。勤労者山岳連盟の成立を考えてみてください。1960年代に政治の革新を、社会の矛盾をなくし、だれもがスポーツに取り組

めて充実した毎日が送れるようにと願って、若者が自分達の願いを実現する新しい山岳会を作ろう、そして登山が国民の生きる喜びや励みになるように立ち上がったのです。当時、遭難事故が多発したことから登山の知識や技術を学び合い、優れたリーダーを育てようと安全登山の実現に力をいれたのです。私たちの登山が山岳自然と関わる以上、自然を大切に活動として、清掃登山と自然保護の活動に全国の会員が各地で行動を起こしました。これまでの山岳会活動が閉鎖的で徒弟的であったため民主的な山岳会運営を目指し、「仲間を大切にする」を標語にしたのも当然のことでした。いまではだれもが行ける海外登山も差別されていたので海外登山の普及に力を入れ、山に登ることだけでなくチベットやネパールなど後進国と蔑視していた意識を変えるために親善友好をも取り入れた活動をしたのです。戦争や紛争があれば登山は行えません。平和こそ登山、スポーツ活動の基礎となるとして平和の大切さを訴えました。いまではだれも本気にしないでしょうが、職場でも家庭でも男女の差別があり、女性が山にゆくなど許せないという空気がありました。女性は自らの独立と開放を求めたのです。家事と子育ては女性の仕事という時代で、女性は気がねなく山登りができなかつたからでした。世の中は変わり、よく見ると前進した面と旧態依然として変化のないものもあると思います。

**勤**労者山岳連盟の理念、あるいは理想は今日でも生きています。残念なことに新しい時代にふさわしい中身を手に入れられないのです。会員が増えても、登山の質を高める努力と創造的な活動は低下していきます。なぜでしょうか。同じ時代に生きていながら、活動を共にし、ぶつかり合うことが欠けているからだだと思います。仲間を大切に頭では思っている、行動が伴わないのです。お互い燃えるもの、熱いものが欠けていると思います。

## 相模勤労者山岳会 報告 蝦名政次 計40名(男25:女15)

12/31-1/2 北八ヶ岳 稲子湯-天狗岳-硫黄岳(2)	1/8-9 硫黄岳(2)	岳-横岳-赤岳【講師】(1)	近辺(4)
1/3 塔の岳-鍋割山-大倉(1)	1/9 大山南東尾根ホッカト(1)	1/18-22 九州 鶴見岳 由布岳 久住山 大船山(2)	1/25 第2定例会
1/6-9 甲斐駒ヶ岳【新人雪山山行】(8)	1/13-15 谷川岳 土合周辺【県連雪崩訓練】(1)	1/21-22 尾白側溪谷/連盟講習会(4)	2/8 第1定例会
1/7-9 北岳(1)	1/11 第1定例会	1/22-24 白樺湖エコハレ	2/22 第2定例会
	1/14-15 赤岳鉱泉 硫黄		2/22-25 ヲツト・搬出ト

## みずなら山の会 報告 小川眞澄 計32名(男20名 女12名)平均年齢53歳

1/3 鍋割(8)	1/9 スキー(5)	キ-(14)	2/18 ゲレンデ スキ-
1/3-4 編笠	1/15 天城山(1)	1/28 幕岩(1)	2/26 堂満ルンゼ
1/4-5 赤岳	1/15 堂満岳(1)	1/28-29 妙高山 スキ-(1、他)	3/4-5 西吾妻山 スキ-
1/4 幕岩	1/15 北八(1、他)	2/5 矢倉岳	3/11 戸隠・スキ-
1/7-9 鳳凰三山	1/22 大菩薩(8)	2/10-12 全国雪崩講習会	3/18-19 赤岳
1/8-9 硫黄	1/28-29 サア庇 鹿島槍		3/18-21 白馬・朝日

## 久良岐ハイキングクラブ 報告 三上茂 計9名(男4女5) 平均58歳

2/4 第16回総会(7)	3/4 室内例会	4/1 室内例会	平
2/19 曾我山	3/21 越前岳	4/9 春の公開ハイク湘南	

## こまくさハイキングクラブ 報告 山田日出子 計18名(男4:女14)平均61歳

## カモの会 計73名(男43 女30) 平均34.5歳

山行一覧はホームページに載っています。(編集部)

## 雪童山の会 計19名(男13 女6) 平均38歳

山行一覧はホームページに載っています。(編集部)

## やま++ 報告 柴田勇作 計12名(男8:女4)平均46歳

1/2 丹沢 大山三峰-大山(1)	1/15 自然観察ハイク 丹沢仏果山(6)	1/28 山スキー・湯の丸スキー場~三方ヶ峰(5+1)
1/2-4 飛騨高山 テレマークスキー(3)	1/14-15 関東ブロック雪崩講習会(1)	2/5 新人教育・川崎平和館
1/7 鎌倉アルプス(3)	1/21-22 新年会・霧ヶ峰ログコテージ(10)	2/8 勉強会(雪山2)百合丘
1/8-9 スキー練習・鹿沢~嬌恋スキー場(2)	1/25 例会・百合丘(冬山、雪崩)(10+1)	2/11-12 スノーハイク・霧ヶ峰
1/9 スキー・乗鞍ノ瀬園地(3)		2/22 例会・百合丘
1/11 勉強会・百合丘(フィールドマーク、山スキー)(12+2)		

事務局	議長	副議長	報告	1月10日
-----	----	-----	----	-------

**出席会**  
川崎労山、川崎HC、川崎柴笛、AC横浜、横浜HC、横浜こぶし、藤沢、小田原ナーゲル、相模労山、みずなら、久良岐HC、カモの会、白嶺岳和会、雪童、地平線、やま++ 以上16会

県連からの報告：  
遭対部の総括と方針案の紹介  
第3回山スキー懇談会の呼掛け  
県連への要望 ヒヤリハットを定期的に募集しデータベース化へ  
事故分析は全国規模で行えないか？

## 神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定

### 川崎勤労者山岳会 報告：佐々木利江 計58名(男36 女22)平均40歳

1/8(日)FC湯河原・幕岩(3)	山の家(3)	城ガ崎(4)	その他4つの山行
1/13-15(金)夜(日)県連・雪崩講習会・谷川土合	1/20-21(金)(土)山スキー・湯の丸山(4)	1/21-22県連・救助隊トレーニング(2)	2/8(水)山行例会 2/15(水)運営委員会 2/22(水)例会
1/21-22(土)(日)FC伊豆		1/22(日)八ヶ岳高山(4)	

### 川崎ハイキングクラブ 報告 樋渡輝彦 計108名(男50 女58)平均57歳

12/17 湯坂道(7)	1/8 東京名所散策・例会山行(16)	ク	2/18-19 三筋山
12/17-18 (8)	1/9 七福神巡り(9)	2/5 多摩よこやま道	2/19 城峰山
12/23 鶴ヶ烏屋山(5)	1/11 運営委員会	2/8 運営委員会	2/22 例会
12/25 弁天山(11)	1/18 ユガテ-越上山-顔振峠	2/12 巢雲山	3/3-4 八丈富士・三原山
12/28 例会(32)	1/22 新年会	2/12 南高尾山稜	3/5 宮ヶ瀬ダム~南山
12/31-1/1 高ボッチ山・公開ハイク(5+26)	1/29 弁天山・新春ハイ	2/16 高松	
1/3-5 天狗岳-硫黄岳(6)		2/18-19 白駒池・高見山	
		2/18-19 菰釣山	

### 川崎柴笛クラブ 報告 篠原 計23名(男15 女8)平均48歳

合宿山行 表銀座  
 宮城ゲート 燕山荘 大天井岳 常念岳 蝶ヶ岳 上高地 中の湯 佐藤・海輪・岩瀬  
 柴笛の山行一覧はwww.shi.babue.comで公開しています。  
 例会は毎月 第3水曜日です。

### アルパインクラブ横浜 報告 熊谷博美 計42名(男23:女19)平均37.4歳

12/27-31 白馬スキー(2+4)	檜尾尾根(3)	1/14 丹沢塔ノ岳(1)	2/18-19 深雪トレ
12/29 城ヶ崎(2+1)	12/31-1/2 南アルプス仙丈岳三峰川支流岳沢(1+1)	1/15 南沢大滝(2)	2/28 例会
12/30 丹沢山(2)		1/16 城山(1+3)	3/8 例会
12/30-1/1 中央アルプス空木山(10)	1/7-8 八ヶ岳天狗岳(5)	1/21-22 丹沢(1+5)	3/15 運営委員会
12/31-1/1 中央アルプス	1/7-9 安達太良山(8)	1/21-22 救助隊トレ 東神奈川、谷川(7)	3/28 例会
	1/9 城ヶ崎あかね浜(2)	2/8 例会	

### 横浜ハイキングクラブ 報告 池上準子 計56名(男20:女36)平均59歳

12/16 天覚山 大高山(8)	1/8 鎌倉巡視路と天園ハイキング(12)	キーと婿投げ祭	2/10-12 湯沢パークスキー
12/23 沼津アルプス(7)	1/12 室内例会	1/22 餅つき山行	2/9 室内例会
12/25 白山 飯山観音(9)	1/14-16 松之山温泉 ス	1/29 浅間嶺(奥多摩)	2/22-23 日光戦場ヶ原
1/4 千葉房総 嵯峨山(8)		2/4-5 北八ヶ岳	2/26 シダゴ山

### 横浜こぶしの会 報告 田辺美由紀 計25名(男15人 女10人)平均年齢49歳

12/30-1/2 蝶ヶ岳(3)	1/24 例会	山行)	子)
1/12 例会	1/28 浜石岳(5)	2/4-5 四阿山	2/19-20 赤岳
1/22 御岳大岳(5)	1/29 鎌倉(物ホーク)合同	2/11-12 ケンデーストル(舞)	2/26 会低山(場所未定)

### 横浜わらび山の会 報告：野尻邦夫 計18名(男6 女12)

### 横須賀むすび山の会 報告 計 名(男:女)

### 藤沢山の会 報告 清水 守 計98名(男41:女57)平均59歳

12/31-1/1 大倉(6)	1/21-22 雪山実技山行・富士山(14)	他12山行	岳
1/7 陣馬山(15)	1/22 扇山(8)	2/5 武川山	3/11 新人歓迎湯河原
1/14-15 谷川 雪崩講習会(2)	1/28-29 雲取山(4)	2/12 実技山行 三国山	
1/15 湘南平(7)	1/31 星ヶ山(14)	2/8-18 ニュージーランド	
		2/25-26 実践山行 谷川	

### 小田原ナーゲル 報告 春日谷

12/30-1/2 赤岳(4+1)	1/8 大同心稜-大同心ルンゼ(2)	の出山縦走(2)	詳しくは、HPの山行報告
12/31-1/1 雲取山(2)	1/15 大塚山-御岳山-日	1/21-22 富士山(五合目)1+4	をご参照下さい。 ht tp://nagel.jp/
1/2 四十八滝(1+1)			

**世**の中の多くの場面で、人は覚めてしまっ  
 て、何が起きても他人ごとという空気が蔓延しています。それを由とするなら話は進みませんが、こんなことは嫌だというなら解決の道筋はいくつもあると思います。私たちが引き継ぐ理事にできるだけ負担をかけたくないと思っていましたが、負担のない仕事など実はないのです。皆さんが理事になった人たちを励ませるかどうかにかかっています。やりたい人がやればいいなどと思っていれば不団結の芽はすぐ大きくなります。ぼんやりしてはいけません。仲間を見捨ててはいけません。  
**神**奈川県連盟では仲間を増やし、抱えている問題のひとつひとつ解決して、そのこ

とが会の活動を刺激し、また仲間を元気づけ活動のエネルギーを充填できるようにしたいと考えます。

**連**盟の活動はひとりひとりに関わること、仲間と共に歩めることを喜ぶようにしたいと考えます。古い時代を生き抜いてきた人たちの英知を、情熱をもった新しい人たちの行動力をともに県連盟に、会に結集してほしいと願うものです。

**皆**さんにできること、それは自分の意志で連盟活動に参加することです。

以上

## 関東ブロック雪崩講習会の報告 やま++ 紙戸大輔

1. 日程 2005年1月14日(土)~15日(日)
2. 場所 土合山の家の東側 赤沢山の尾根周辺
3. 受講クラス 応用
4. 講師 川嶋氏(東京)、入木田氏(神奈川県)
5. 天候 1/14 曇り時々小雨  
1/15 曇りのち晴れ
6. 感想

今回の受講は昨年に続いて2回目である。昨年の講習では雪・雪崩に関する基本知識なく、雪・雪崩に関するイロハを学ばせてもらった。

雪崩埋没体験でどうしようもなく身動きがとれないことを体感したり、ビーコン捜索では1分1秒を争うにも関わらず容易に見つけできなかったり。その後、所属会で頻りにスキーでバックカントリーに出ようになり、雪・雪崩について更に学びたい、学ぶ必要があると感じたのが、今回受講の動機である。

応用クラスは、課題のみ与えられて基本的には講師からの説明なし、という形で進められた。

まず弱層(雪崩のすべり台になる雪の層)テストの復習として、いきなりハンドテストとシャベルコンプレッションテストの実施を命じられる。正直、昨年受講して以来1年ぶりだったので戸惑ったが、2~3回で何とか思い出してきた。日頃の反復練習が必要であ

る。  
 1月14日は寒気が南下しない状態での南岸低気圧通過で、それまでの猛烈な寒さとは打って変わり、春先の陽気となった。これにより、積雪断面観察では、面白い現象を見ることができた。

雪温は、普通は雪表面が氷点下の外気温で地表に近づくにつれ直線的に雪温が上がり地表温度の0に近づくのだが、この日は外気温が2前後のため、表面から深さ60センチまでは雪温が下がり(-2.6)、そこから地表(+0.7)までは雪温が上昇するというカーブ現象が見られた。雪は外気温を封印保存しつつ降り積もっていく。雪層内での空気の対流が起きる理由や、雪は異なった性質のまま層状に積もっていくことを、実際の現場で理解することができた。

また尾根上までのルートファインディング訓練では、弱層テストによる雪崩リスクの判断や、地形の観察により雪崩道を選べたルート取りをすることを学んだ。とはいっても、最終的な判断は講師の方々に負うところが大きく、まだまだ経験を積む必要があると感じた。

応用クラスのメンバーは、2日目に基本クラス講習生・講師の前でビーコン捜索デモをするのが課題の一つであった。捜索、2次雪崩の見張り、救助要請、安定場所の整地など、捜索リーダーはメンバーの役割を決めて即座

に行動を起こすことが必要があるが、(ここだけの話、前日の予行演習の甲斐もあって)、何とかスムーズにできたように思う。またグローブで感触を得てからでない掘り起こしてもまず見つからないこと、搬出を配慮して谷側から掘ることなど、捜索・救助する上で基本的かつ大切なことを学ぶことができた。

12月の神奈川県連机上講習では中山氏の「皆さんの雪崩に関する学習はスタートラインについたばかり」との言葉が耳に残り、また基本クラス講師の鶴田氏は「受講生のとき、レポート用紙16枚分の事前学習をしてから

臨んだら、実際の現場で手に取るように事前に学習したことを理解できた」と述べていたことが印象に残っている。

理論も経験も大事で、双方が組み合わさって初めて実際の山行で役に立つのだと思う。今後も継続して学んでいきたいし、所属会への啓蒙にも取り組んでいきたい。

最後に、講習会の事務局の方々、講師の方々には大変お世話になりました。大切なことを学ばせていただいたと思います。深く御礼申し上げます。

## 労山関東ブロック雪崩講習会感想文

2006年2月3日 曾根文彩(神奈川県/無所属)

開催日: 2006年1月14~5日  
 開催場所: 谷川岳(土合山の家周辺)  
 受講クラス: 初級

昨春より神奈川県連盟リーダー養成学校にてお世話になり、今回始めて雪崩講習会に参加させていただきました。これまで本格的に雪山に入っていたわけではありませんが、雪崩への理解や知識は浅く、三種の神器(ピーコン、グローブ、スコップ)を持つという意識などないままに雪山を歩いておりました。

今回は例年のない大雪と急な気温の上昇により、TVニュースや新聞報道等で雪崩について大きく取り上げられる中での雪崩講習会開催となりました。

講習のメニューは大まかに分けると、事前の机上講習で学んだ知識を踏まえ、雪質の違いを理解する為の観察体験、雪崩事故における初動捜査訓練、でした。

ハンドテストや、3ヶ所近いピットを掘り、雪の観察を行いました。雪の特質について学ぶ中で、特に雪の温度には深度によって勾配があるということに興味深く感じました。延いてはそれが弱層の主たる原因となるしもざらめ層を作る要因となっているわけなのですが、机上講習で習った知識も、実際に見て触って体感することで、より説得力のある知識となるのだと思いました。雪の結晶の観察は、ルーペで見ても思ったより分かりにくく、経験の積み重ねが大切だと思いました。

これからも意識して観察してみたいと思います。

中級クラスにより、救助要請を受けてから遭難者救出に至るまでの初動捜査の実演がありました。5分間で全てのことをこなす為には、いかに無駄なく迅速に行動することが重要であるかということを目の当たりにしました。それはピーコン・トレーニングの必要性も然る事ながら、まずは救助要請から実際に捜査に入るまでのリーダーの冷静かつ的確な采配が如何に重要であるかを痛感しました。今回は2分あまりかかっていたと思います。5分の中の2分は大きいけれど、その後の3分をスムーズにこなす為には必要不可欠な時間でした。また、そのリーダーの指示を正確に混乱なく実行するためには、メンバーも同等の雪崩への知識と理解が必要であると感じました。

講習会を通じて色々な会の方と交流を持てたのも有意義でした。不幸にも雪崩事故を体験され、それをきっかけに大勢で参加された会の方々のお話や、勉強して会に持ち帰ってもなかなか理解を得られないといったお話などを伺うにつけ、雪崩の知識の普及を目指すこの雪崩講習会の活動がいかに大切であるかということを理解しました。これまで雪崩が自分には関係ないかのように思っていた自分の無知を反省しつつ、そういったレベルの登山者は世の中にまだまだ多いのではないかと思います。正直申しまして、初級の内容で

## クリーンハイク第1回実行委員会報告

2006年1月30日 記録 児玉

参加者: 高橋(藤沢山の会)、磯部、石田、小林、吉岡(地平線の会)、金森(みずなら山の会)、大日方(AC横浜)、北野(緑と星スキー山の会)、三上(久良岐HC)、田辺(横浜こぶしの会)、三枝木(横浜HC)、高橋(雪童山の会)、栗田(やま++)、矢萩(川崎労山)、児玉(カモの会)。計15名(敬称略)

救助隊 熊谷さん(ACY)

### 1. 役割分担

責任者 吉岡(4月から自然保護委員長)

副責任者 高橋(現自然保護委員長)

事務局長 羽生田(欠席の為仮)

副事務局長

渉外

庶務 金森、北野

ピラ 児玉

広報・宣伝 大日方

水質 小林、三枝木、田辺

植樹 栗田

前夜祭

### 2. コースなど(ちらしの内容検討)

・コースは去年と同じ

・大倉高原を追加(一般参加者向け)

・鍋割山は、事前、鍋割山荘 草野さんに聞いて、ごみ拾い以外、何か協力できる作業があれば、それをやります。

・一般参加者のコースは、人数の少数分散

を防ぐため、コースを限定して、その中から選んでもらう。また、コースの説明をちらしに記載し、難度高いコースを学生ワングルなどの団体向けに、選んでもらうように説明します。(丹沢山、新大日、ヤビツは外す)

・植樹、水質はちらしに記載せず、別で募集する。(一般向け募集はなし)

・戸川林道、表丹沢県民の森の林道には、調査隊を別途派遣(各会から数名出してもらい、デジカメで現状写真を撮り、報告書を作る)調査隊は一般参加なし

熊谷さん(救助隊からのお願い)

丹沢山、新大日の、当日出発が大倉、ヤビツでないコースは、事前に予定時間を連絡(登り初めの時間、前夜泊場所など)

次回確認すること。

・問い合わせ先の確認(現在山田さん)前日の連絡先も含む

・申し込み先の確認

(E-MAIL受付(cleanhike2006@yahoo.co.jp)、どういう風に管理するか、FAX、郵便も同様)漏れのないようにするには。

・一般参加の保険は有償にするか

・会員の申し込みはどのようにとりまとめるか

・作ったちらしを再度検討 3/12(日)県連総会の時まで持って行き、そこで各会に配布。

## 丹沢水質調査のお願い

2006年の丹沢水質調査は、クリーンハイク(5月28日)の前日、5月27日(土)に予定しております。この意義ある山岳ボランティアに、ぜひ、各会のご協力をお願い致します。

今年も、沢コース(3コース)と水場尾根コース(1コース)と名水コース(1コース)、合計5コースで実施しますが、現在、沢1,3,水場コースが決まっています。

各会におかれましては、この調査にぜひご協力いただきたく、ご希望のコースをご検討くださいますよう、お願

神奈川県勤労者山岳連盟自然保護委員会

い申し上げます。なお、要員数は各コースとも2名以上でお願い致します。

なお、採水場所や採水の方法の説明、採水容器のお渡しなどは5月のクリーンハイク説明会で実施します。

連絡先: 小林 TEL/FAX: 042-771-9120

E-mail: kobatomo@uitec.ac.jp

または自然保護委員水質担当(三枝木、田辺)までご連絡ください。

コース	場所	試料数と山行形態	担当会
沢1	水無本谷(出会いとツメ)	沢2箇所	募集中
沢2	源治郎(出会いとツメ)と竜神の泉	沢2箇所と名水1箇所	みずなら山の会
沢3	勘七の沢(出会いとツメ)	沢2箇所	募集中
水場	大倉高原山の家と塔ノ岳の水場と後沢乗越	水場3箇所(尾根歩き)	募集中
名水	葛葉の泉と大山春岳沢水場とゴマ屋敷の水場	名水3箇所(ウォーキング)	藤沢山の会

でも私には難しく理解しきれない部分も少なからずありました。事前に雪崩講習会は難しいらしいという話も聞いていました。しかし難しそうだからと二の足を踏まずに、雪山に入るのであれば最低限の知識を身につけるべく、自分のペースで学ぼうとすることが何より重要だと思いました。

この度は登山外にも関わらず、貴重な機会を与えていただきどうもありがとうございました。これからも勉強を続け、正しい知識をもって事故なく大いに雪山を楽しみたいと思います。

以上

## 2006年度ハイキングリーダー学校入校案内

### ハイキング委員会

ハイキングリーダー学校では、登山の基礎技術の蓄積、安全山行に対する知識、統率力を身に付けるようにします。目標としては新入会員の講師ができて、夏山一泊程度のリーダーができる事とします。

#### 記

期 間： 2006年4月6日～11月20日  
 講 習： 机上講習と実技山行（内容は次表による）  
 資 格： 会の推薦を受けた人、持久力のある人  
 人 数： 10名  
 受講料： 7000円  
 申込み： 受講申込書に記入の上、下記へ連絡してください。（4月6日締切り）  
 加藤正敏（藤沢山の会） 〒253-0052 茅ヶ崎市幸町6-13-206  
 0467-87-7080  
 清藤秀子（川崎ハイキングクラブ） 〒226-0021 横浜市緑区北八朔町1982-1-103  
 045-933-4502

#### 切取線

### 第13期ハイキングリーダー学校受講申込書

氏名	年齢	男・女	血液型	型
住所 〒	電話			
	携帯			
所属会名	遭対基金			<input type="checkbox"/>
主な山行歴				
抱負・要望				

# 2006年ハイキングリーダー学校日程及び内容

ハイキング委員会

日程	課題	内容	備考	講師
4/6 (木)	入校式・机上講習 ハイキングリーダーとは	登山の考え方・会活動 計画書・報告書の書き方	かながわ県民 センター	中山 加藤
4/16 (日)	山行 鎌倉	安全山行(歩き方・持ち物) 地図の見方	日帰り山行	清藤
5/11 (木)	机上講習 山行をするには	ザイル・シュリングの使い方	かながわ県民 センター	増田
5/21 (日)	山行 鷹取山/湘南	三点確保 岩場の通過	日帰り山行	増田
6/8 (木)	机上講習 天気図の見方	山の天気 観天望気	かながわ県民 センター	増田
6/17-18 (土-日)	山行 丹沢	日帰り装備 行動中の判断と対応	一泊山行 (ピバーク)	加藤
7/6 (木)	机上講習 救急法	セルフレスキュー 応急処置	かながわ県民 センター	清藤
8/20 (日)	山行(予備日8/27) 葛葉沢/丹沢	川歩き・沢とはどんな所 岩場の通過	日帰り山行	増田
9/14 (木)	机上講習 山での生活技術	山行中でのアクシデント 一泊山行装備	かながわ県民 センター	加藤
9/30-10/1 (土-日)	山行 赤岳/八ヶ岳	リーダーシップ メンバーシップ	一泊山行 (テント泊)	加藤
10/15 (木)	山行 西丹沢	地図にない道歩く 地形	日帰り山行	加藤
11/5 (日)	山行 沼津アルプス	修了山行 自分達の力で歩く	日帰り山行	受講者
11/20 (月)	修了式	修了書授与 反省会・懇親会	県連事務所	全員

・上記計画は都合により変更することがあります。

・机上講習場所・時間

場所： 神奈川県民センター  
横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2  
045-312-1121  
時間： PM 7 : 0 0 ~ 9 : 0 0